

# スラリー添加方式のブロック状混合処理工法特記仕様書

## 1 工事概要

本地業は、セメントスラリーを用いた浅層混合処理工法による地盤改良地業である。この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、原地盤を固化する方法によって地盤改良を行うものである。

## 2 一般事項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「2018年版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針2018年11月」（（財）日本建築センター、以下指針という）による。

## 3 特記事項

(1) 改良範囲、改良厚等は設計図書による。ただし、改良範囲、改良厚及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により、変更した方が適切と判断される場合は、監査員の承認の上に変更することができる。

(2) 改良体の設計基準強度は  $F_c = 600 \text{ kN/m}^2$ 、設計時想定する変動係数を25%以下、不良率を10%とし、検査手法Aが適用できる工法とする。尚、設計時に強度のバラツキを想定できない場合は、変動係数を45%とし、検査手法Bを適用する事とする。

(3) 推定配合量はセメント系固化材（TL-3E同等以上）  $180 \text{ kg/m}^3$ （W/C= 100%）とするが、事前に現状土による室内配合試験を実施し配合量を決定する。

(4) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。固化材と改良対象土を確実に混合攪拌することができ、セメントスラリーの吐出流量と積算流量、攪拌回数がリアルタイムで管理できる施工管理装置を装備する施工機械を用いる。

(5) セメントスラリーを用いた浅層混合処理工法の専門工事会社を本工事施工業者とする。

(6) 工法の選定においては、公的機関における技術審査証明を有する工法（エスミックスラリー工法同等以上）を選定し、計画書にその証明の写しを添付する。

## 4 配合管理

(1) セメントスラリーに使用する固化材は、セメント系固化材とする。

(2) 配合強度

配合管理目標変動係数を想定し、「5 品質検査」に規定する抜き取り個所数Nから表1を用いて  $\alpha_t$  を決め配合強度  $X_r$  を設定する。

$$X_r = F_c \cdot \alpha_t$$

$X_r$  : 配合強度 ( $\text{kN/m}^2$ )

$F_c$  : 設計基準強度 ( $\text{kN/m}^2$ )

$\alpha_t$  : 割り増し係数

表1 割り増し係数 ( $L_{(P)} = 80\%$ ,  $V_d = 25\%$ の場合)

抜き取りヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
配合管理目標変動係数 $V_c$						
25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

(3) W/Cと固化材量

室内配合試験の結果に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$$X_i = X_r / \alpha_{r1}$$

$X_i$  : 室内配合強度 ( $\text{kN/m}^2$ )

$X_r$  : 配合強度 ( $\text{kN/m}^2$ )

$\alpha_{r1}$  : 現場/室内強度比

(4) 六価クロムの溶出試験

事前配合試験時に現場配合に近い供試体において六価クロムの溶出試験を行い、 $0.05 \text{ mg/l}$ 以下であることを確認したセメント系固化材を使用すること。

## 5 品質検査

(1) 調査ヶ所数

① 検査手法は強度のバラツキを想定する場合は検査手法Aによる。その場合は、選定工法による改良体の強度のバラツキデータを添付すること。データを添付できない場合は検査手法Bによるものとし、1検査対象層に対して25個以上のコア数が必要であり、これを満足できるよう調査箇所数を定める事とする。

② 事後調査ヶ所数

表2 調査ヶ所数

検査手法A	頭部コア試験	3ヶ所
	ボーリングコア試験	-

(2) コア採取率による調査

コアボーリング調査の内、検査対象群に1ヶ所の割合でコア採取率を調査する。

コア採取率が、全長に対して粘性土で90%、砂質土で95%、深さ1m毎に、粘性土で85%、砂質土で90%以上であることを確認する。礫等を有する地層はサンプリング時のサンプラーの回転切削により、固化部分が崩れるのでコア採取率による連続性の判定は、上述の目安値と地盤条件などを加味して総合的に行う。

(3) 合否の判定

① 抜きヶ所数をNとする。1mあたりまたは1ヶ所あたり3個の供試体を採取し、その平均強度をその箇所の強度とする。

② 一軸圧縮試験は第三者機関で行うものとする。

③ 検査手法Aによる品質検査（検査手法Bの場合についても、指針参照の上準拠する事）合否の判定は設計対象層におけるNヶ所（抜きヶ所数）の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合は合格と判定する。

$$X_N \geq X_L = F_c + k_a \cdot \sigma_d = F_c + k_a \{ F_c \cdot V_d / (1 - 1.3 V_d) \}$$

$X_N$  : Nヶ所の一軸圧縮強度の平均値 ( $\text{kN/m}^2$ )

$X_L$  : 合格判定値 ( $\text{kN/m}^2$ )

$F_c$  : 設計基準強度 ( $\text{kN/m}^2$ )

$k_a$  : 合格判定係数

$\sigma_d$  : 標準偏差 ( $\text{kN/m}^2$ )  $\sigma_d = V_d \cdot \text{qud}$

$\text{qud}$  : 想定した現場平均一軸圧縮強さ ( $\text{kN/m}^2$ )

$V_d$  : 想定した強度の変動係数

表3 合格判定係数

抜き取りヶ所数 N	1	2	3	4~6	7~8	9~
合格判定係数 $k_a$	1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	浅層混合処理工法 特記仕様書	S-07

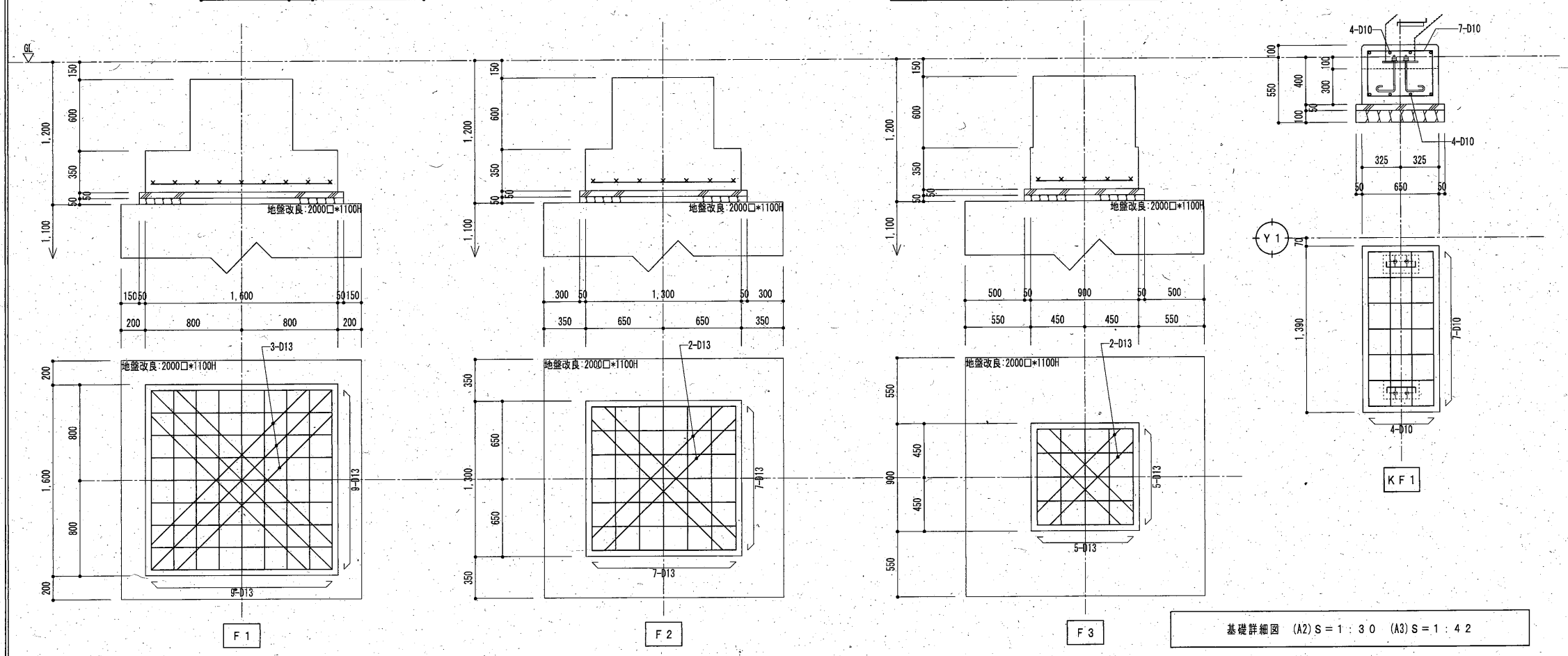
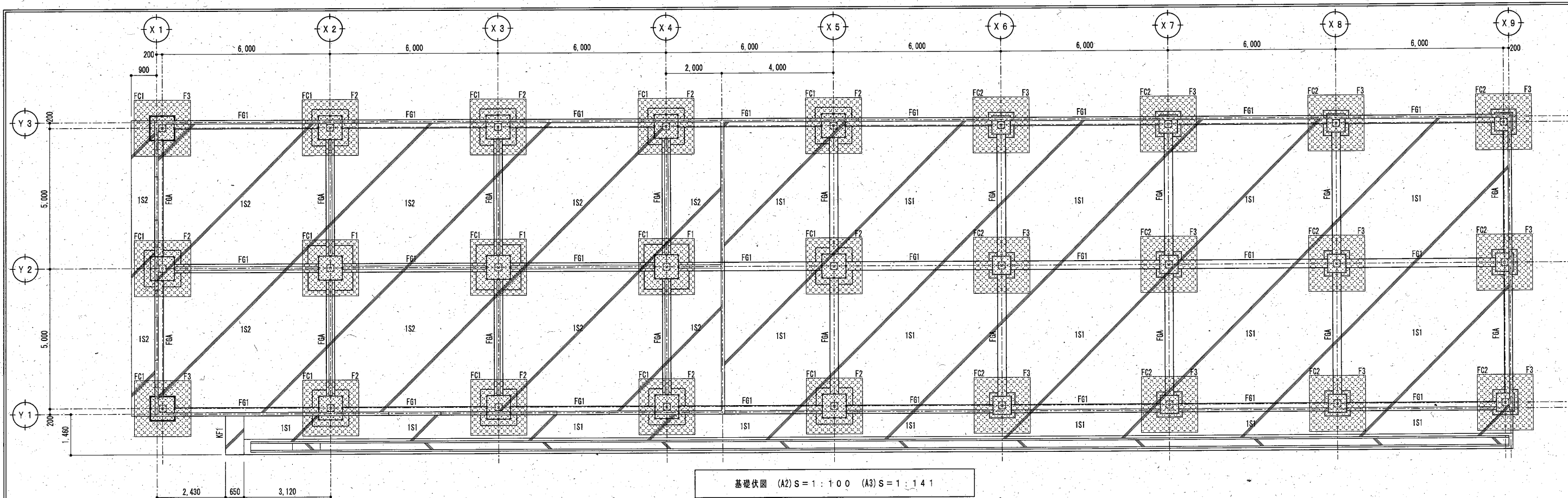
## 設備構造規定チェックリスト

### 構造設計一級建築士により関与が義務付けられる建築基準法施行令第129条の2の4の規定に関する図書

○ 建築物に設ける建築設備にあつては構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。

	※ 設計が該当する場合には、口にチェックを記入する。	法令
昇降機	<input type="checkbox"/> 建築物に設ける昇降機にあつては、第129条の4及び第129条の5（これらの規定を第129条の12第2項において準用する場合を含む。）、129条の6第1号並びに第129条の8第1項の規定（第129条の3第2項第1号に掲げる昇降機にあつては、第129条の6第1号の規定を除く。）に適合すること。	令129の2の4第1号
設備全般 (昇降機を除く)	<input checked="" type="checkbox"/> 建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。	令129の2の4第2号 建告1388第1
屋上突出物	<input type="checkbox"/> 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。	令129の2の4第2号 建告1388第2
煙突	<input type="checkbox"/> 煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。	令129の2の4第2号 建告1388第3第1号
	<input type="checkbox"/> 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。	令129の2の4第2号 建告1388第3第2号
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備（給湯設備を除く）	<input checked="" type="checkbox"/> 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。	令129の2の4第2号 建告1388第4第1号
	<input checked="" type="checkbox"/> 建築物の部分を通り抜けて配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。	令129の2の4第2号 建告1388第4第2号
	<input checked="" type="checkbox"/> 管の伸縮その他の変形により、当該管に損傷が生ずる場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。	令129の2の4第2号 建告1388第4第3号
	<input checked="" type="checkbox"/> 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。	令129の2の4第2号 建告1388第4第4号
給湯設備	<input type="checkbox"/> 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。	令129の2の4第2号 建告1388第5
屋上突出物 計算規定	<input type="checkbox"/> 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。	令129の2の4第3号 建告1389

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	設備構造規定チェックリスト	S-08



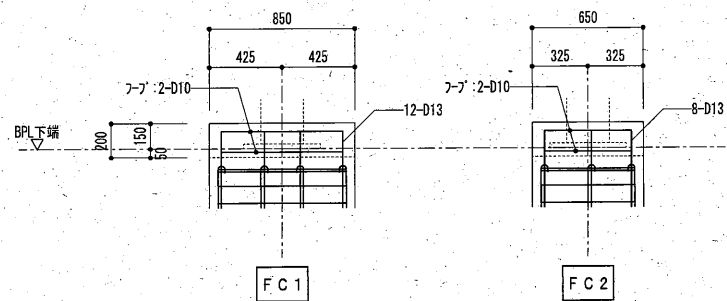
基礎の種類	直接独立基礎+地盤改良
基礎底部の位置	GL-1,100
支持地盤の種類	砂礫
支持地盤の位置	GL-4,150

※地盤改良:浅層混合処理工法を示す  
 ・設計基準強度:Fc=600kN/m<sup>2</sup>  
 ・セメント系固材添加量:180kg/m<sup>3</sup>  
 ・寸法:2,000□×1,100H

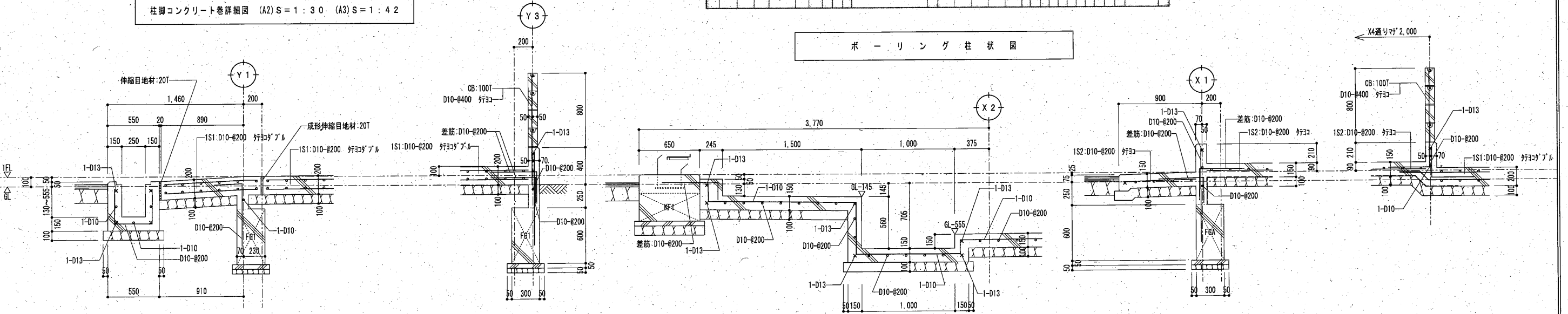
TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	
DR. NAME	基礎伏図 基礎詳細図1		S-09

柱型リスト		地中梁リスト		
符号	FC1	FC2	符号	FG1・FGA
位置	全断面	全断面	位置	全断面
形状			形状	
B * D	850*850	650*650	B * D	300*600
主筋	12-D25	8-D25	上端筋	3-D16
フープ	D13-@100	D13-@100	下端筋	3-D16
トップ	2-D13	2-D13	S T P	2-D10-@200
			腹筋	2-D10
			巾止筋	D10-@900

1階床スラブリスト					
符号	スラブ厚	位置	短辺方向	長辺方向	備考
1S1	200	全断面	D10-@200 ｸﾞﾗﾌﾞﾙ	D10-@200 ｸﾞﾗﾌﾞﾙ	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ
1S2	150	全断面	D10-@200	D10-@200	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ

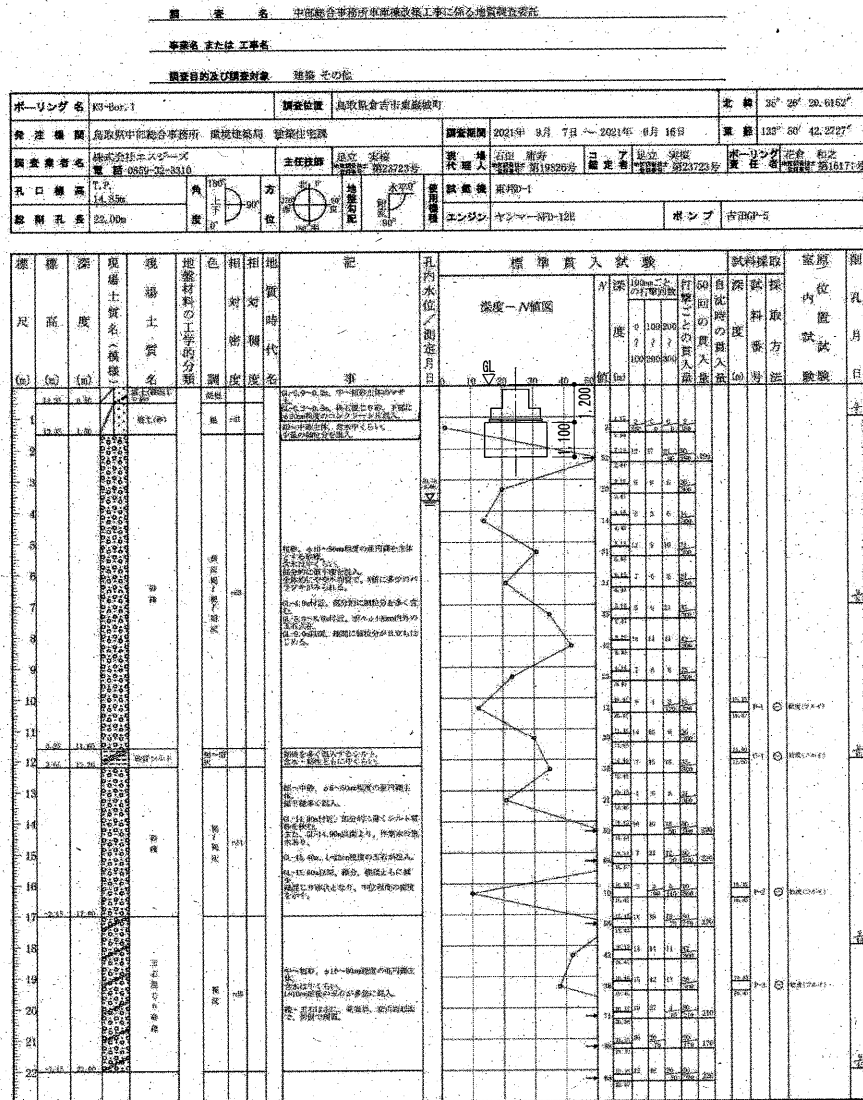


柱間ｺﾝｸﾘｰﾄ巻詳細図 (A2) S = 1 : 3.0 (A3) S = 1 : 4.2



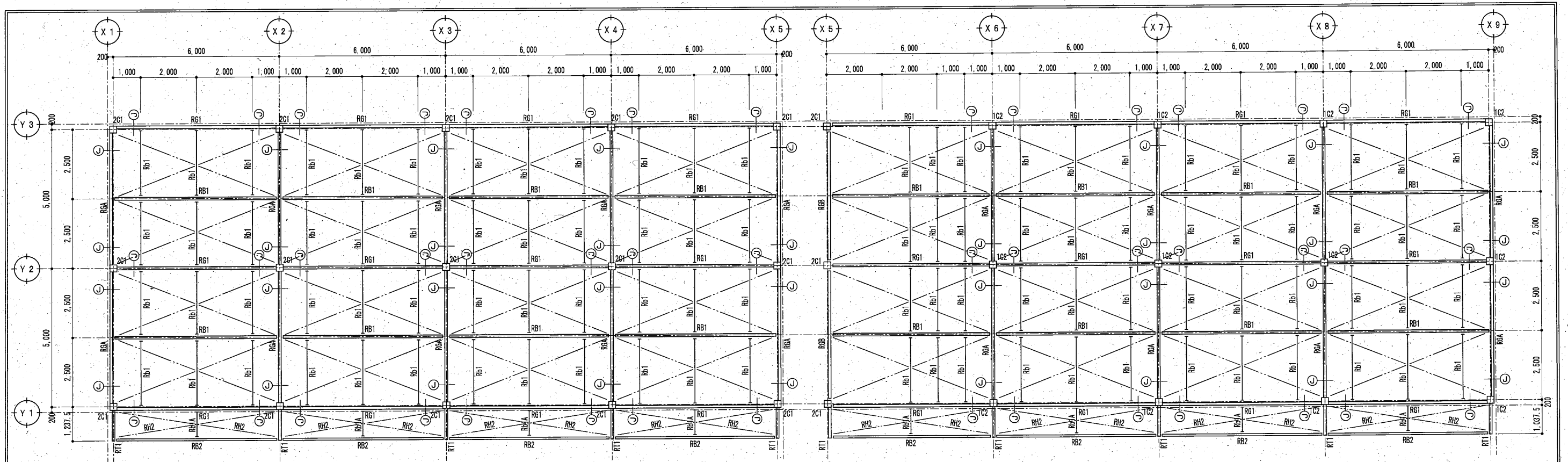
基礎詳細図 (A2) S = 1 : 3.0 (A3) S = 1 : 4.2

土質ボーリング柱状図 (標準貫入試験)



ボーリング柱状図



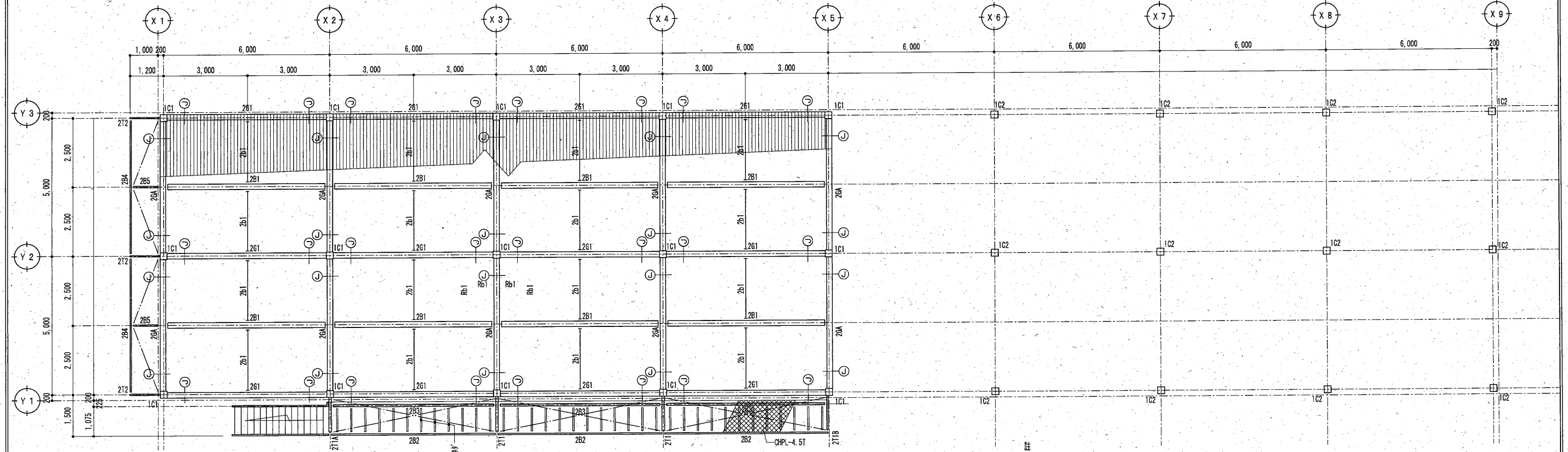


軒高1レベル 梁伏図 (A2) S=1:100 (A3) S=1:141

軒高2レベル 梁伏図 (A2) S=1:100 (A3) S=1:141

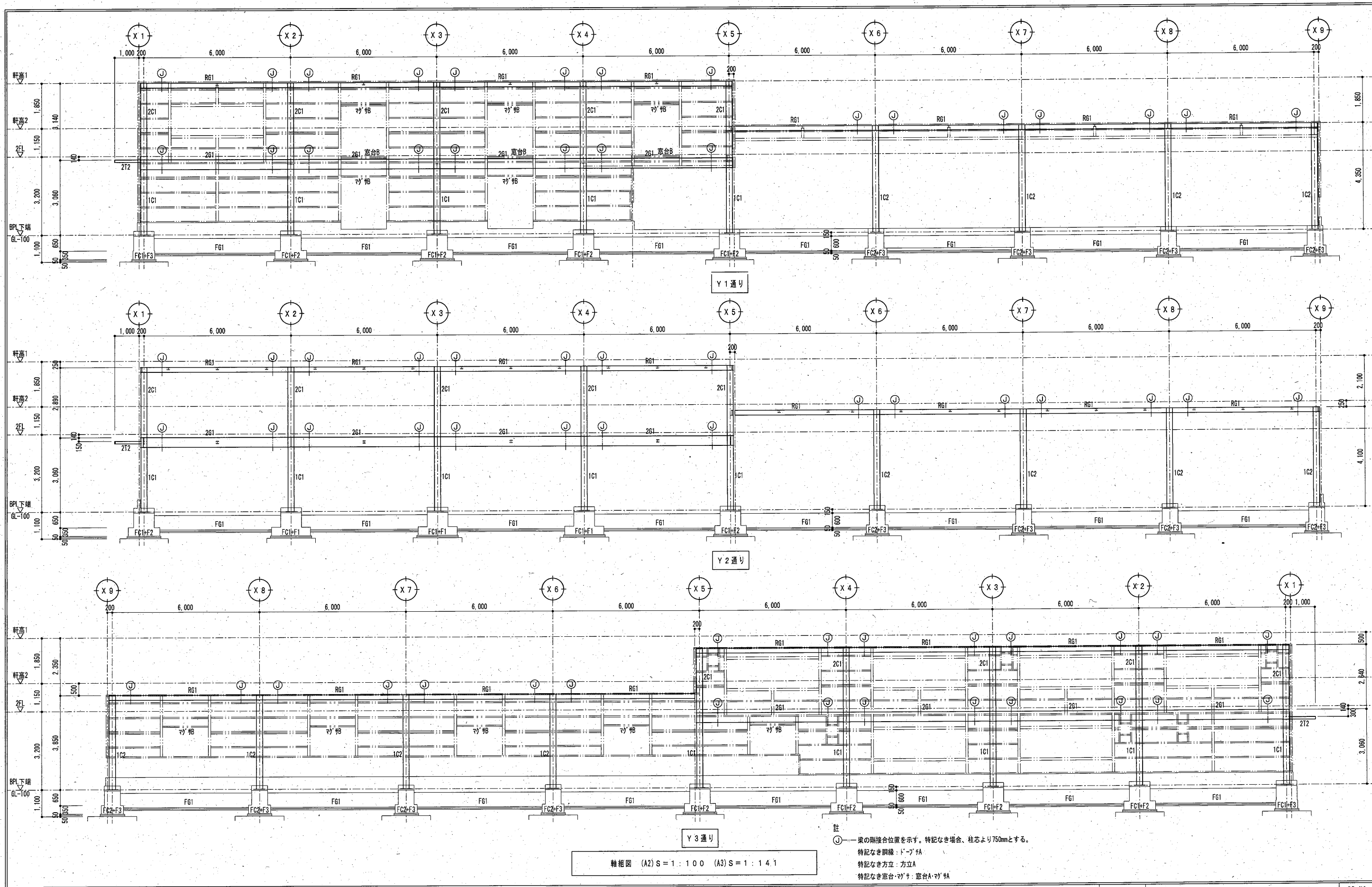
註  
 ① 梁の剛接合位置を示す。特記なき場合、柱芯より750mmとする。  
 特記なき水平ブレース: RH1

註  
 ① 梁の剛接合位置を示す。特記なき場合、柱芯より750mmとする。  
 特記なき水平ブレース: ZH1  
 特記なき斜材: ZS1

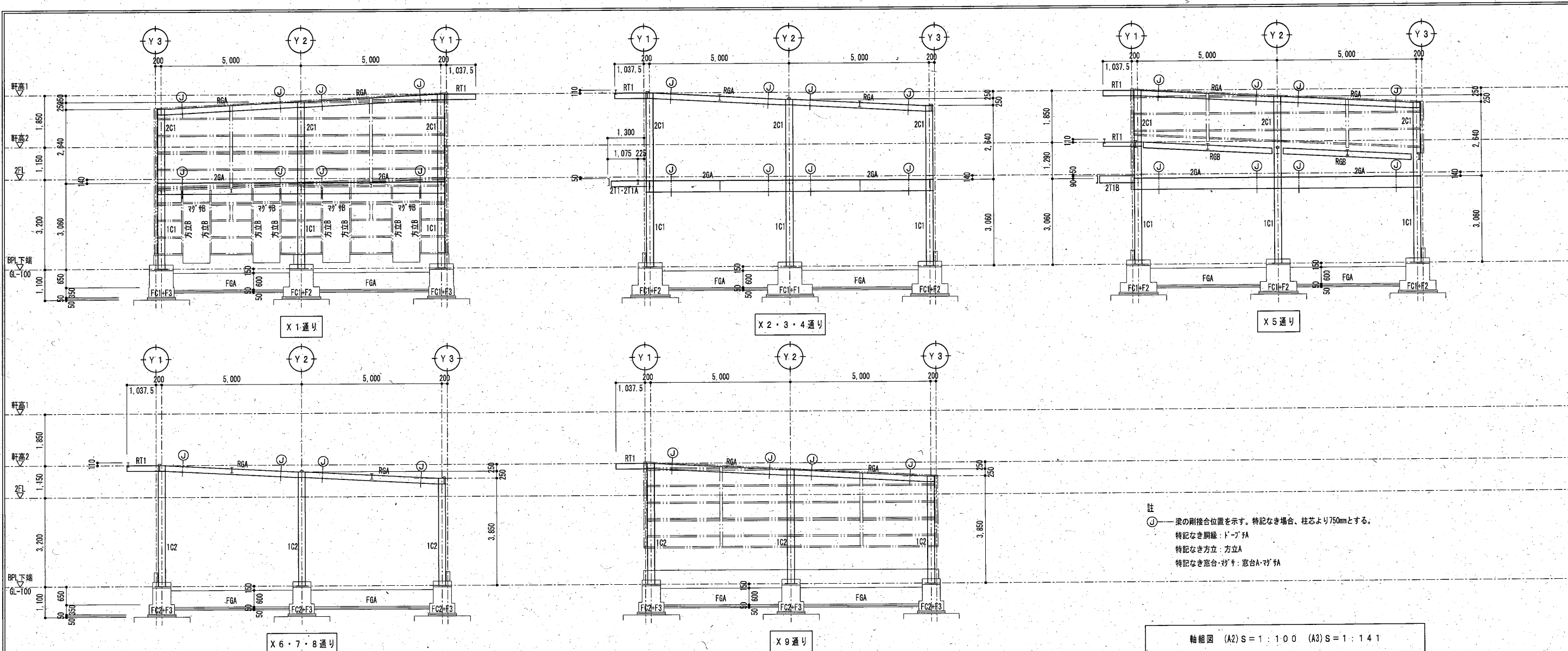


2FL 梁伏図 (A2) S=1:100 (A3) S=1:141

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	2FL・軒高1レベル・軒高2レベル 梁伏図	S-11



TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	
DR. NAME	軸組図 I		S-12



① 梁の剛接合位置を示す。特記なき場合、柱芯より750mmとする。  
 特記なき鋼種：ド-ブ#A  
 特記なき方立：方立A  
 特記なき窓台・がら：窓台A・がら#A

軸組図 (A2) S=1:100 (A3) S=1:141

メンバーリスト ※印は、溶融亜鉛メッキ処理鋼材を示す。

符号	部材	接合部	符号	部材	接合部	符号	部材	接合部	符号	部材	接合部	
IC1	□-250*250*9	BCR295	BPL-28*450*450 (SN490C) AB (ABR400): 4-M27 L=810 DN 定着板: 16*90*90	RGA	H-200*100*5.5*8*8 SS400	F: 1PL-16 HTB 4-M16 W: 2PL-6 HTB 2-M16	※ 2B3	H-150*75*5*7*8 SS400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	※ 抄	L-65*65*6 @500 SS400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16
IC2	□-250*250*6	BCR295	BPL-25*450*450 (SN490C) AB (ABR400): 4-M24 L=720 DN 定着板: 16*75*75	RGB	H-200*100*5.5*8*8 SS400	GPL-6 HTB 2-M16	※ 2B4	H-100*50*5*7*8 SS400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	※ 2H1-RH2	RB-M10 TB締 SNR400B	GPL-6 HTB (F8T) 1-M16 羽子板 GPL-6*50*132
2C1	□-250*250*6	BCR295		※ 2T1-2T1A	H-198*99*4.5*7*8 SS400	3-セリ	※ 2B5	H-100*50*5*7*8 SS400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	RH1	RB-M12 TB締 SNR400B	GPL-6 HTB 1-M16 羽子板 GPL-6*50*132
2G1	H-396*199*7*11*13	SS400	F: 3PL-9 HTB 6-M20 W: 2PL-9 HTB 4-M20	※ 2T1B	[-250*50*50*4.5	3-セリ	※ RB1	H-198*99*4.5*7*8 SS400	GPL-6 HTB 2-M16	ド-ブ#A	C-100*50*20*2.3 @606 SSC400	がらPL-3.2 中B 2-M12
2G2	H-400*200*8*13*13	SS400	F: 3PL-9 HTB 6-M20 W: 2PL-9 HTB 4-M20	※ 2T2	H-100*50*5*7*8 SS400	3-セリ	※ RB2	H-150*75*5*7*8 SS400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	方立A	□-100*100*2.3 STKR400	2がらPL-3.2 中B 2-M12
RG1	H-200*100*5.5*8*8	SS400	F: 1PL-16 HTB 4-M16 W: 2PL-6 HTB 2-M16 GPL-6 HTB 2-M16	※ RT1	H-198*99*4.5*7*8 SS400	3-セリ	2b1	2C-100*50*20*2.3 SSC400	GPL-9 HTB 2-M16	方立B	C-100*50*20*2.3 SSC400	がらPL-3.2 中B 2-M12
				※ 2B1	H-396*199*7*11*13 SS400	GPL-9 HTB 5-M20	Rb1	2C-100*50*20*2.3 SSC400	GPL-6 HTB 2-M16	窓台A がら#A	□-100*100*2.3 STKR400	2がらPL-3.2 中B 2-M12
				※ 2B2	[-250*50*50*4.5 SSC400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	※ Rb1A	2C-100*50*20*2.3 SSC400	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	窓台B がら#B	C-100*50*20*2.3 SSC400	がらPL-3.2 中B 2-M12
										折版受	C-100*50*20*2.3 SSC400	3-セリ

合成スラブリスト

符号	部材	表面処理	コンクリート厚(山上)	ひび割れ拡大防止筋	接合部仕様	接合間隔		耐火認定番号	備考
						巾方向	長手方向		
2S1	EZ50-1.2T	SDP2G	Z12	80	6φ-@150	焼抜き栓溶接	φ300	φ600	

柱脚リスト			
符号	1C1	1C2	屋外階段付折
柱断面	□-250*250*9 (BCR295)	□-250*250*6 (BCR295)	[-250*50*50*4.5
形状			
A'-x'プレート	28*450*450 (SN490C)	25*450*450 (SN490C)	12*150*300
アンカボルト	(ABR400) 4-M27 L=810 DN	(ABR400) 4-M24 L=720 DN	2-M16 L=480 DN
リブプレート			
定着板	16*90*90	16*75*75	

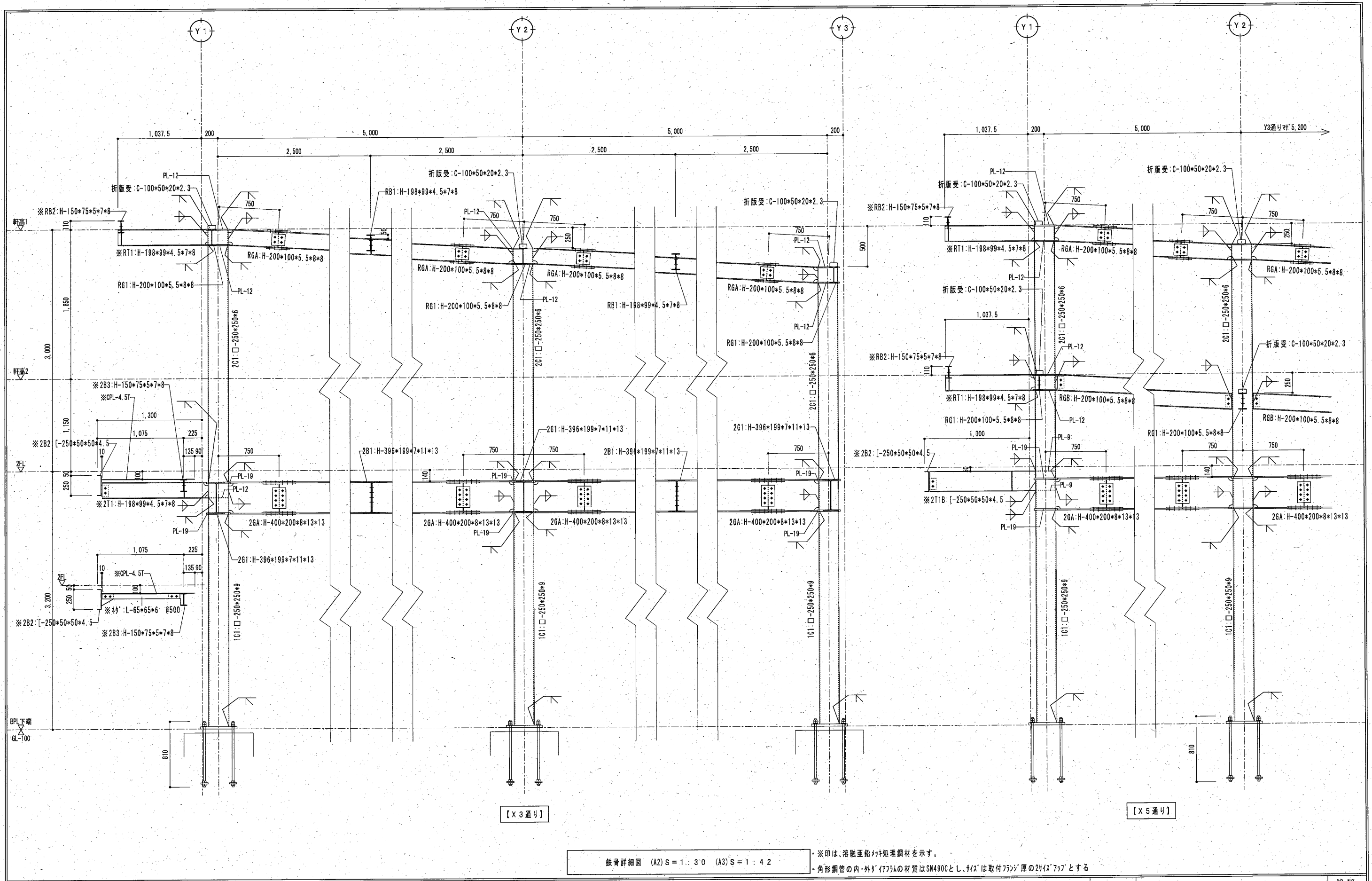
梁剛接合部リスト			
符号	2G1	2GA	RG1-RGA
部材	H-396*199*7*11*13	H-400*200*8*13*13	H-200*100*5.5*8*8
形状			
仕様	F:3PL-9 HTB 6-M20 W:2PL-9 HTB 4-M20	F:3PL-9 HTB 6-M20 W:2PL-9 HTB 4-M20	F:1PL-16 HTB 4-M16 W:2PL-6 HTB 2-M16

梁接合部リスト							
符号	RG1-RGB	2B1	※ 2B2	※ 2B3	※ 2B4	※ 2B5	※ RB1
部材	H-200*100*5.5*8*8	H-396*199*7*11*13	[-250*50*50*4.5	H-150*75*5*7*8	H-100*50*5*7*8	H-100*50*5*7*8	H-198*99*4.5*7*8
形状							
仕様	GPL-6 HTB 2-M16	GPL-9 HTB 5-M20	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	GPL-6 HTB (F8T) 2-M16	GPL-6 HTB 2-M16

梁接合部リスト		
符号	2b1	Rb1
部材	2C-100*50*20*2.3	2C-100*50*20*2.3
形状		
仕様	GPL-9 HTB 2-M16	GPL-6 HTB 2-M16

水平ブレース接合部リスト		
符号	RH1	※ 2H1-RH2
部材	RB-M12 TB線 SNR400B	RB-M10 TB線 SNR400B
形状		
仕様	建築用タンク鋼(JIS A 5540) GPL-6 HTB 1-M16 羽子板 PL-6*50*132	建築用タンク鋼(JIS A 5540) GPL-6 HTB (HTB) 1-M16 羽子板 PL-6*50*132





鉄骨詳細図 (A2) S = 1 : 3.0 (A3) S = 1 : 4.2

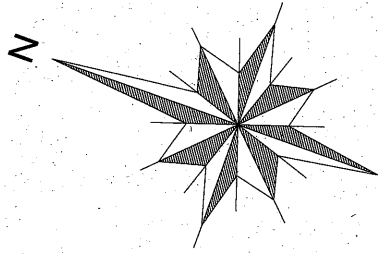
※印は、溶融亜鉛めっき処理鋼材を示す。  
 角形鋼管の内・外径(775L)の材質はSN490Cとし、φ15は取付フランジ厚の2φ15\*77とする

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	鉄骨詳細図 1	S-15

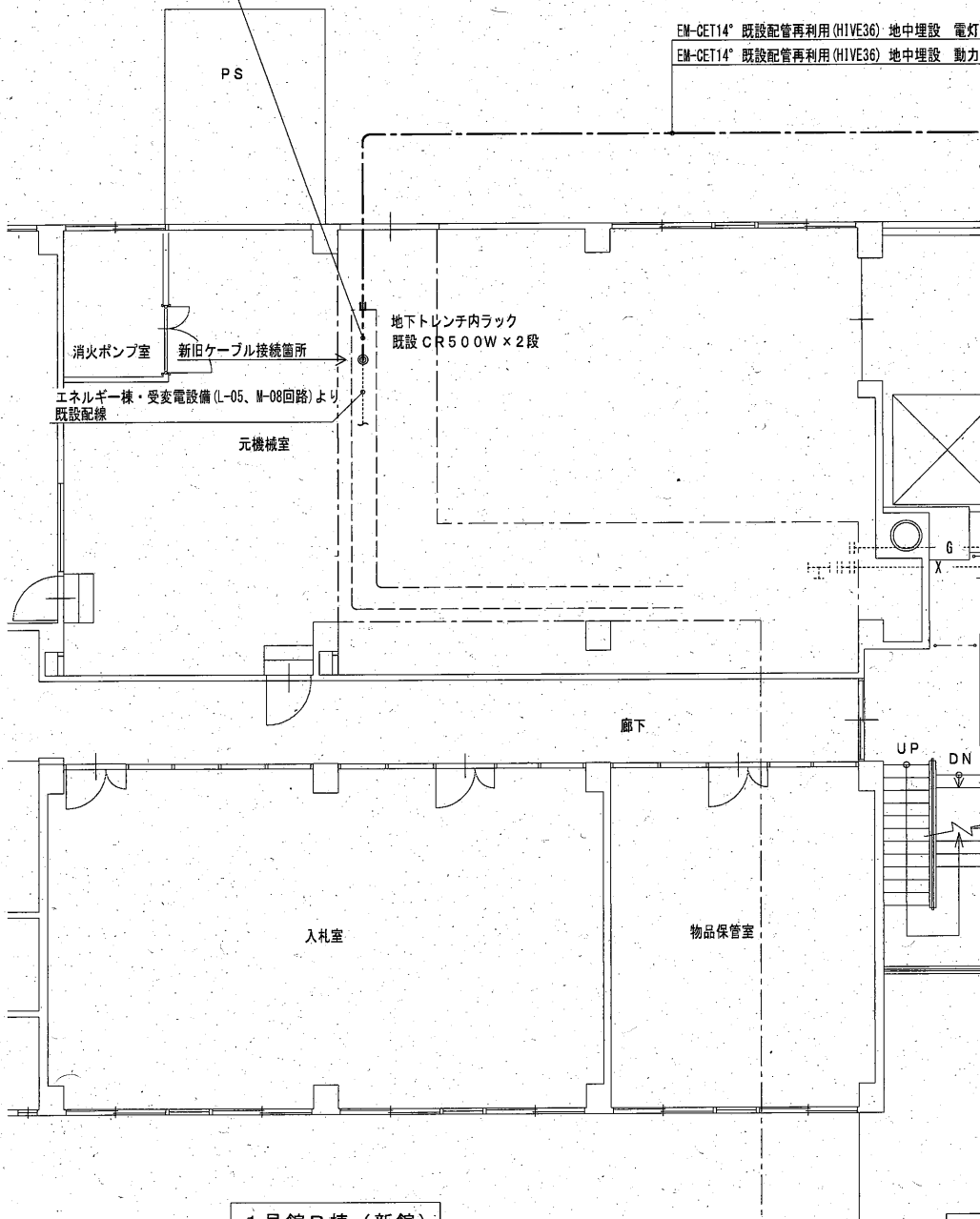






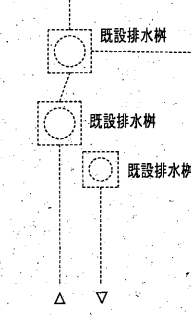
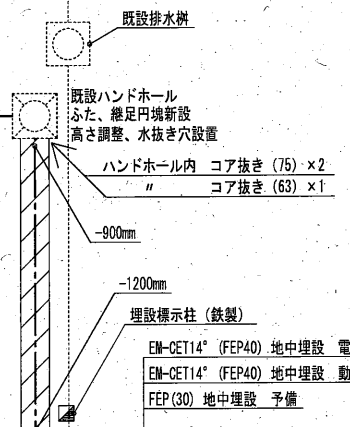


EM-CET14° ケーブルラック配線 電灯  
EM-CET14° ケーブルラック配線 動力



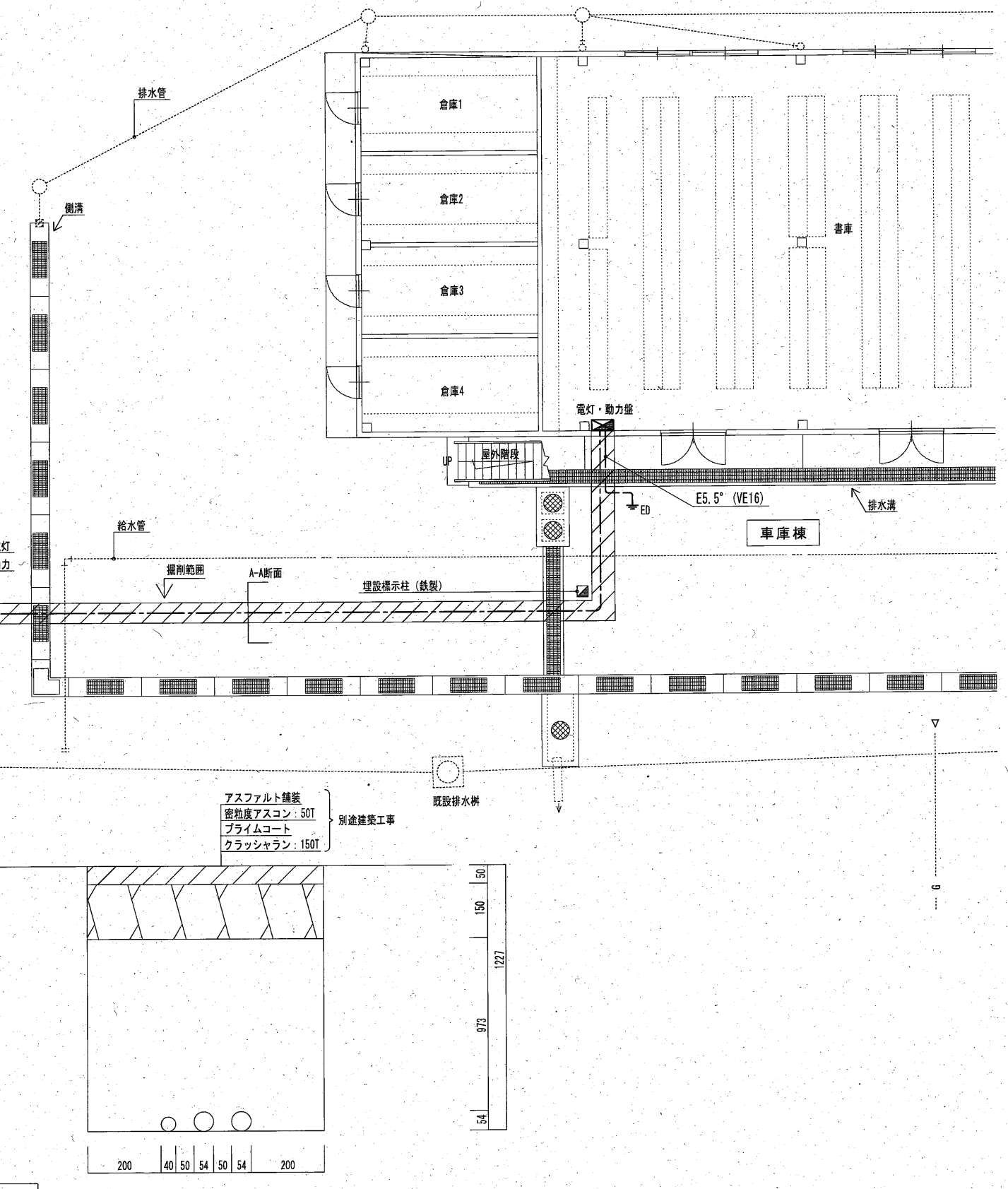
1号館B棟 (新館)

EM-CET14° 既設配管再利用 (HIVE36) 地中埋設 電灯  
EM-CET14° 既設配管再利用 (HIVE36) 地中埋設 動力



特記事項  
1. 電気配管等埋設に伴う掘削・埋戻しを本工事、  
アスファルト舗装復旧は建築工事とする。

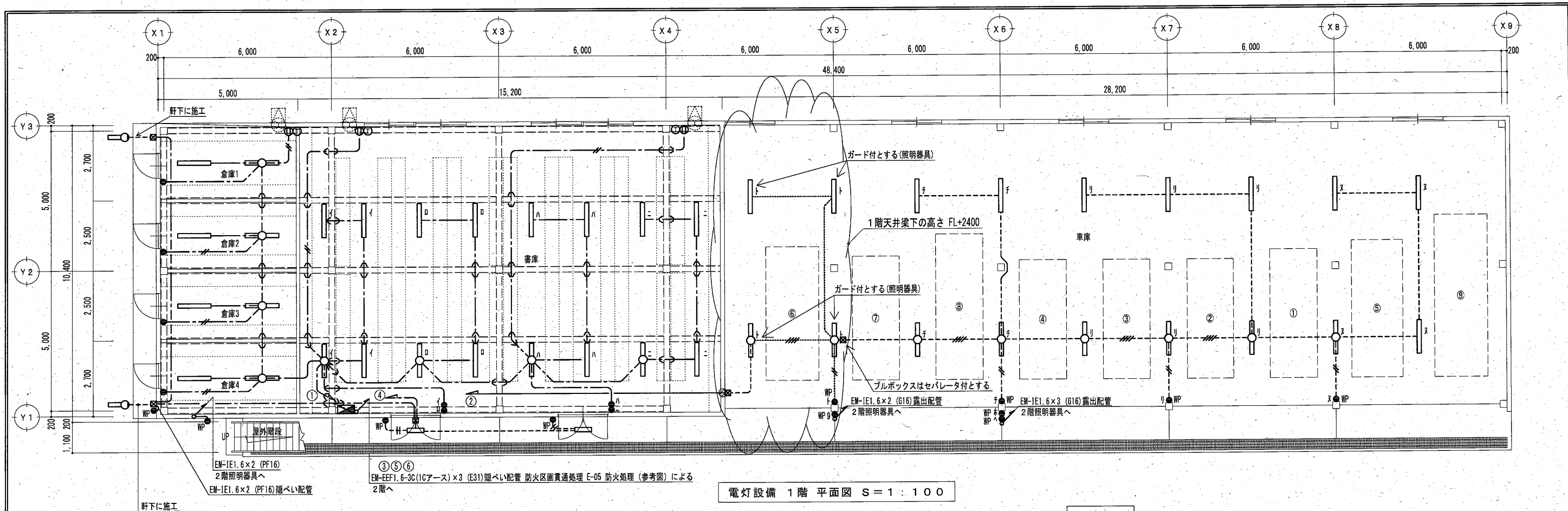
構内配電線路設備 平面図 S=1:100



A-A断面図

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	構内配電線路設備 平面図	E-03





電灯設備 1階 平面図 S=1:100

屋外	
D	2台

倉庫	
A	8台

書庫	
A	16台

屋外通路	
C	2台

車庫	
Ba	14台
Bb	4台

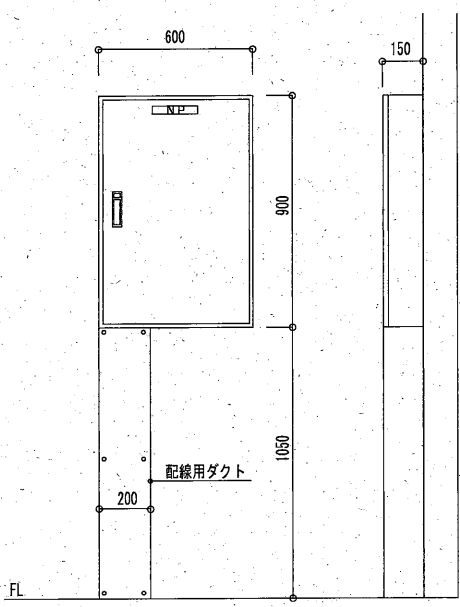
凡例

図中特記なき記号は下記による

記号	概要	備考
●	埋込スイッチ	1P 15A×1
●●	埋込スイッチ	1P 15A×2
●WP	防水スイッチ	1P 15A×1
WP●WP	防水スイッチ	1P 15A×1+1P 15A×1
⓪	埋込コンセント	2P 15A×1
ⓧ	プルボックス	200×200×200 WP・SUS製
ⓧ	防火区画貫通処理	国土交通省 認定品 E-05 防火処理 (参考図) による
---	梁	天井面露出部分
⓪	温度サーモ	温度調節10~3.0℃オンオフ

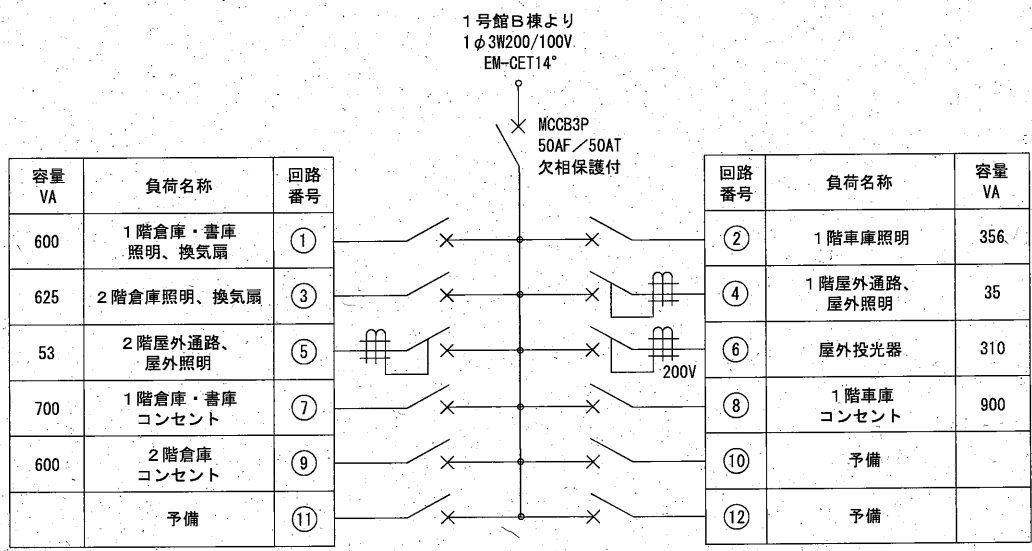
特記事項

- 図中、指示なき配管配線は下記による。
  - EM-IE1.6×3 (E19) 露出配管 (屋外部分はG16)
  - EM-IE1.6×2 (E19) 露出配管 (屋外部分はG16)
  - EM-IE1.6×4 (E19) 露出配管 (屋外部分はG16)
  - EM-EEF1.6-3C (ICアース) (PF16) 2階床下打ち込み配管
  - EM-EEF1.6-3C (ICアース) 天井内
  - EM-EEF1.6-2C 天井内
  - (PF16) スラブ内打込配管
- 壁内立上りはPF管にて保護を行う。
- 屋外に面する壁の室内に取り付けるスイッチは結露防止カバーを取り付ける。
- 照明器具の凡例は、E-05参照とする。



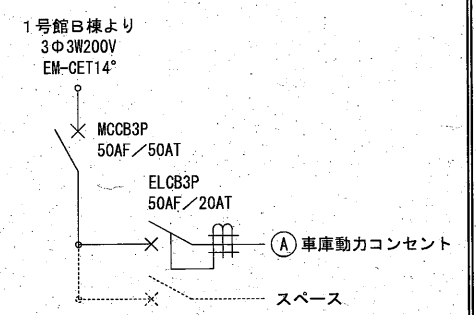
電灯・動力盤 参考姿図

壁掛型 銅板製 下部配線用ダクト付 板厚t=1.6mm

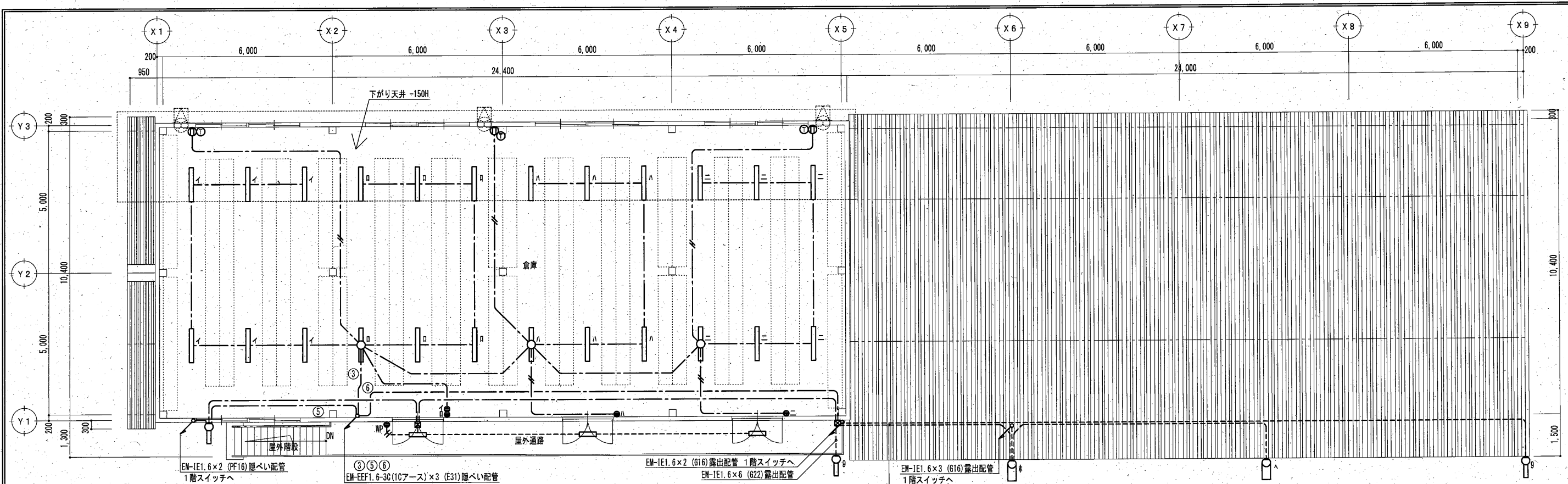


電灯・動力盤 結線図

JIS協約型  
MCCB2P1E 50/20A×9  
ELCB2P1E 50/20A×2  
ELCB2P2E 50/20A×1



TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	
DR. NAME	電灯設備 1階 平面図		E-04






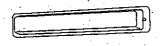
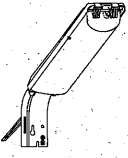

EM-IE1.6×2 (PF16) 隠ぺい配管 1階スイッチへ  
 EM-EEF1.6-3C (1Cアース)×3 (E31) 隠ぺい配管 1階電灯・動力盤へ  
 EM-IE1.6×2 (G16) 露出配管 1階スイッチへ  
 EM-IE1.6×6 (G22) 露出配管  
 EM-IE1.6×3 (G16) 露出配管 1階スイッチへ  
 EM-IE1.6×6 (G22) 露出配管

倉庫	屋外通路	屋外
A 24台	C 3台	D 3台
		E 2台

電灯設備 2階 平面図 S=1:100

照明器具 参考姿図

図中品番は参考とする

<p><b>A</b> LED笠なし型器具 LSS1-4-30</p>  <p>器具光束3200lm、消費電力20.6W 本体：銅板（白色粉末塗装） LED、昼白色（5000K）</p>	<p><b>B a</b> LED笠なし型器具 LSS1MP/RP-4-30</p>  <p>器具光束3200lm、消費電力20.6W 防湿・防雨型 本体：ステンレス（高反射白色粉末塗装） LED、昼白色（5000K）</p>	<p><b>B b</b> LED笠なし型器具 ガード付(SUS) LSS1MP/RP-4-30</p>  <p>器具光束3200lm、消費電力20.6W 防湿・防雨型 本体：ステンレス（高反射白色粉末塗装） LED、昼白色（5000K）</p>
<p><b>C</b> LEDブラケット LGW80190LE1</p>  <p>器具光束1062lm、消費電力11W 防雨型、天井面・壁面取付け兼用形 本体：プラスチック（ホワイト） LED、昼白色（5000K）</p>	<p><b>D</b> LED防犯灯 NNY20328LE1</p>  <p>器具光束730lm、消費電力6.3W 防雨型、明るさセンサー内蔵 本体：ASA樹脂（クールホワイト） LED、昼白色（5500K）</p>	<p><b>E</b> LED投光器 LPJ1M-180</p>  <p>器具光束22600lm、消費電力174W 防雨型 本体：ステンレスシルバー色塗装 LED、昼白色（5000K）</p>

※消費電力は、JIS C 8105-3 による。

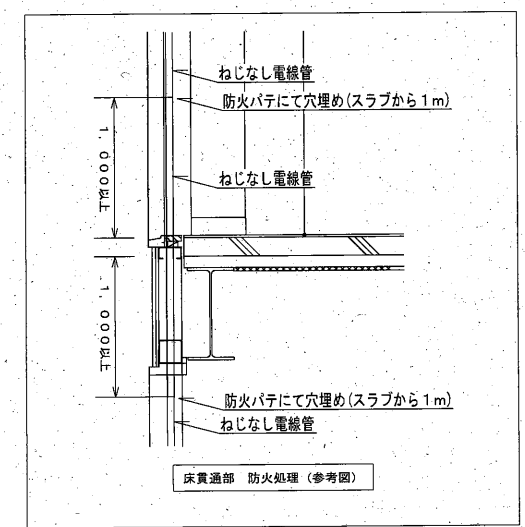
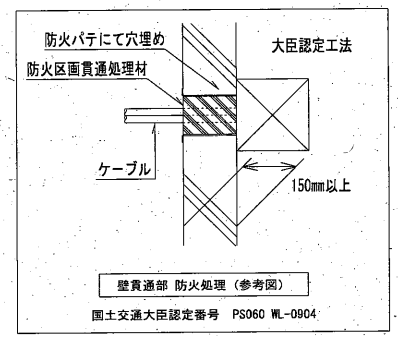
凡例

図中特記なき記号は下記による

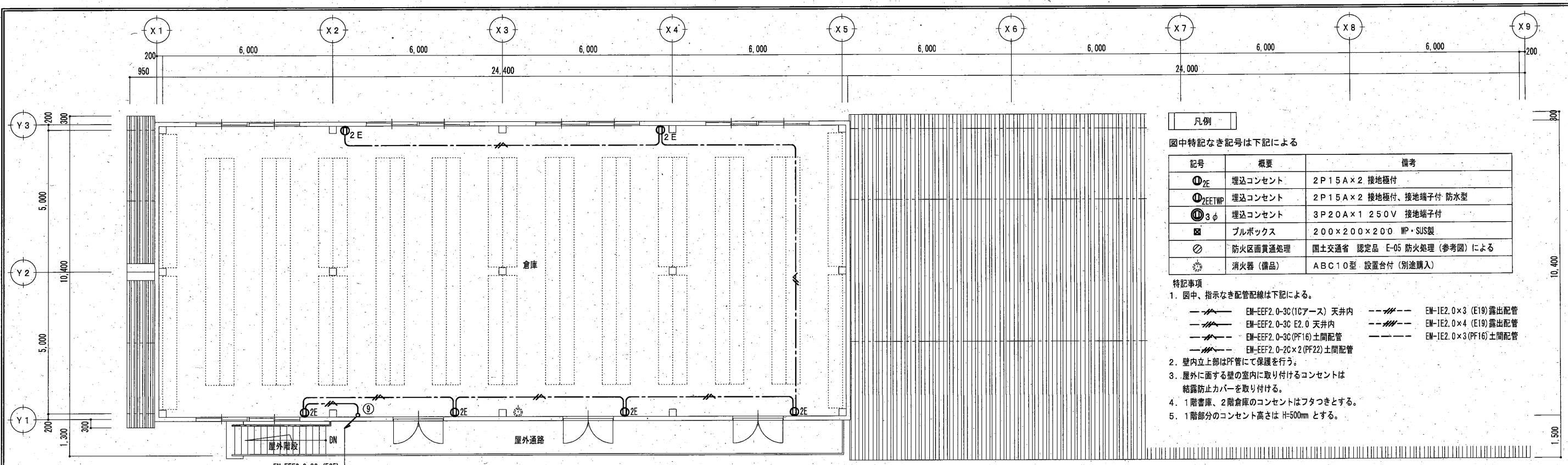
記号	概要	備考
●	埋込スイッチ	1P15A×1
●●	埋込スイッチ	1P15A×2
●WP	防水スイッチ	1P15A×1
⓪	埋込コンセント	2P15A×1
☒	プルボックス	200×200×200 WP・SUS製
Ⓢ	温度サーモ	温度調節10~30℃オンオフ

特記事項

- 図中、指示なき配管配線は下記による。
  - EM-IE1.6×3 (E19) 露出配管(屋外部分はG16)
  - EM-IE1.6×2 (E19) 露出配管(屋外部分はG16)
  - EM-IE1.6×4 (E19) 露出配管(屋外部分はG16)
  - EM-EEF1.6-3C (1Cアース) 天井内
  - EM-EEF1.6-2C 天井内
  - EM-EEF1.6-2C×2 天井内
- 壁内立上部分はPF管にて保護を行う。
- 屋外に面する壁の室内に取り付けるスイッチは結露防止カバーを取り付ける。



TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	
DR. NAME	電灯設備 2階 平面図		E-05



コンセント・動力設備 2階 平面図 S=1:100

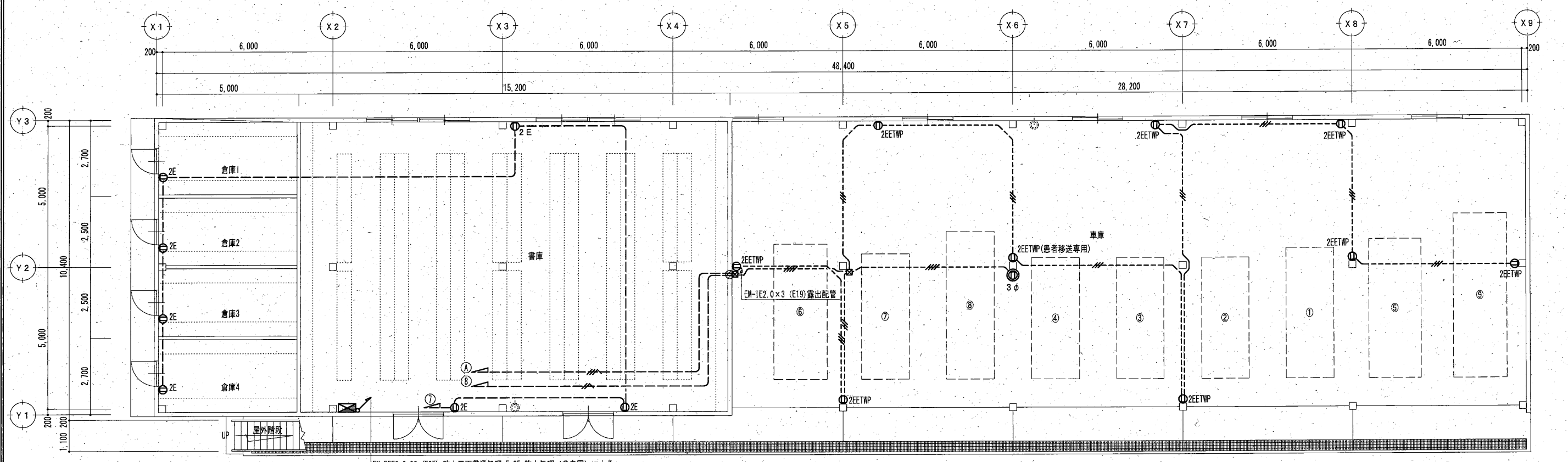
凡例

図中特記なき記号は下記による

記号	概要	備考
Ⓧ <sub>2E</sub>	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付
Ⓧ <sub>2EETWP</sub>	埋込コンセント	2P15A×2 接地極付、接地端子付 防水型
Ⓧ <sub>3φ</sub>	埋込コンセント	3P20A×1 250V 接地端子付
Ⓧ	プルボックス	200×200×200 WP・SUS製
Ⓧ	防火区画貫通処理	国土交通省 認定品 E-05 防火処理 (参考図) による
Ⓧ	消火器 (備品)	ABC10型 設置台付 (別途購入)

特記事項

- 図中、指示なき配管配線は下記による。
  - EM-EF2.0-3C (ICアース) 天井内
  - EM-EF2.0-3C E2.0 天井内
  - EM-EF2.0-3C (PF16) 土間配管
  - EM-EF2.0-2C×2 (PF22) 土間配管
  - EM-IE2.0×3 (E19) 露出配管
  - EM-IE2.0×4 (E19) 露出配管
  - EM-IE2.0×3 (PF16) 土間配管
- 壁内立上部はPF管にて保護を行う。
- 屋外に面する壁の室内に取り付けるコンセントは結露防止カバーを取り付ける。
- 1階倉庫、2階倉庫のコンセントはフタつきとする。
- 1階部分のコンセント高さはH=500mmとする。



コンセント・動力設備 1階 平面図 S=1:100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	E-06
DR. NAME	コンセント・動力設備 1、2階 平面図		



一 般 共 通 事 項	20 鋼管類の防食処理	<p>地中埋設 ● ベトロタム系 ● プレブル系 ● 熱収縮チューブ及びシート</p> <p>● 標準図(施工3) (● (1)絶縁フランジ (● (2)絶縁シート)</p> <p>※ 合成ゴム製(球形) ● ポリテトラフルオロエチレン製 ● ベローズ形(ステンレス製)</p> <p>※ ベローズ形 ● スリーブ形</p> <p>各種材料のうち、下記の部分は塗装しない。(さび止め塗装は除く。)</p> <p>(ア)埋設されるもの(ただし、防食塗装部分を除く)</p> <p>(イ)重鉛めっき以外のめっき仕上げ面</p> <p>(ウ)重鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(エ)重鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類</p> <p>(オ)樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分</p> <p>(カ)カラー亜鉛鉄板面</p> <p>(キ)アルミ、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板面、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面</p> <p>(ク)特殊な意匠の表面仕上げ処理を施した面</p> <p>(ケ)主・各層機械室内等及び電気室内の重鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管</p> <p>● 上記及び標準仕様書によらず塗装を施す部分・箇所( )</p>	12 ファンコイルユニット	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>	⑧ 排水設備	<p>① 配管材料</p> <p>2 漏水試験機手</p> <p>3 バイブシャフト内配管の保護</p> <p>4 煙試験</p>	<p>(ア)屋内汚水管 ● VP ● RF-VP ● 排水用塩ビライニング鋼管 ● 耐火二層管</p> <p>(イ)屋内雑排水管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>● 耐火二層管</p> <p>(ウ)ポンプ排水管 ● VP(水道用) ● H1VP ● 排水用塩ビライニング鋼管(圧送排水鋼管用標準)</p> <p>(エ)通気管 ● VP ● RF-VP ● SGP(白) ● 排水用塩ビライニング鋼管</p> <p>(オ)屋外排水管 ● VP ● RF-VP ● VP(地中) ● REP-VU(地中)</p> <p>● RS-VU ● 卵形管 ● コンクリート管</p> <p>3階以上をわたる排水管立て管に漏水試験機手を取付ける ● 取付けない</p> <p>※ 施工しない ● 施工しない</p> <p>※ 行なわなくてもよい ● 図示の系統のみ行なう</p>											
	25 ステンレス鋼管の接合方法	<p>呼び径60S以下の標準は、SAS322による拡管式とする。</p> <p>● ガス配管 ● 冷温水配管 ● 冷却水配管</p>	15 吹出口・吸込口	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>	9 給湯設備	<p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p>	<p>● SGP-HVA ● ステンレス鋼管 ● 架橋ポリエチレン管</p> <p>● 保温付被覆鋼管 ● 銅管</p> <p>湯沸器、給湯機器の付属配管等は製造業者標準品とする。</p> <p>※ 5K ● 10K</p>											
	26 溶接配管の検査	<p>非破壊検査の適用(● 放射線透過検査 ● 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査)</p> <p>抜 取 率 (● 標準仕様書による ● %)</p>	16 チャンバー等	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>	10 消火設備	<p>1 配管材料</p> <p>2 弁類</p> <p>3 保護</p> <p>4 屋内消火栓</p> <p>5 ガス系消火剤の種類</p> <p>6 ガス系消火剤の起動方式</p>	<p>(ア)一般配管 ● SGP(白) ● STPG</p> <p>(イ)土間下配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>(ウ)屋外埋設配管 ● SGP-VS ● STPG-VS</p> <p>※ 10K ● 1.6K</p> <p>(ア)呼吸タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(イ)充水タンク ※ 施工しない ● 施工する</p> <p>(ウ)配管の保温は次による。(屋外露出箇所は種別e3・(ハ)・Ⅵによる)</p> <p>● 屋内消火栓用(※ 施工しない ● 施工する) ● スプリンクラー用(※ 施工しない ● 施工する)</p> <p>● 連絡送水管(※ 施工しない ● 施工する) ● 連絡散水管(※ 施工しない ● 施工する)</p> <p>● 広範囲型2号消火栓 ● 易操作性1号消火栓 ● 屋内消火栓(● 1号 ● 2号)</p> <p>● 窒素 ● IG-541 ● IG-55 ● HFC-227ea ● HFC-23</p> <p>※ 手動 ● 自動手動切替式</p>											
	27 埋設表示	<p>● 地中埋設標を明示する箇所に設ける。</p> <p>● 埋設表示用テープを埋設する。(● ガス管 ● 屋外給水管 ● )</p>	17 消音内貼り	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>	11 ガス設備	<p>1 都市ガス設備</p> <p>2 配管材料</p> <p>3 ガスメータ</p> <p>4 バルク貯槽</p> <p>5 容器類の配管</p> <p>6 容器転倒防止</p> <p>7 ガス漏れ警報器</p>	<p>都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。</p> <p>(ア)一般配管 ※ SGP(白) ● 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(イ)土間下配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管</p> <p>(ウ)屋外埋設配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ● ガス用ポリエチレン管</p> <p>● 継ぎ目ター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 別途 ● 本工事)</p> <p>● ゴム継ぎ目ター ※ 借用 ● 買取 (取付け ※ 本工事 ● 別途)</p> <p>● 継ぎ目ター ※ 借用 ● 買取</p> <p>● 標準図(施工72)の ● 要領(a) ● 要領(b) ● 要領(c)</p> <p>● 標準図(施工73)の ● 要領(a) ● 要領(b)</p> <p>● 不要 ● 要(※ 別途工事 ● 本工事)</p>											
	28 支持金物・固定金具	<p>ポンプ、屋外設置機器及びピット内に使用するアンカーボルト、ナットはSUS304製とする。</p> <p>屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製または溶融亜鉛めっき仕上げとする。</p>	18 瞬間流量計及び流量測定口	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>	12 浄化槽設備	<p>1 処理種別及び方式</p> <p>2 型式</p> <p>3 処理能力</p> <p>4 放流水の水質</p> <p>5 排水方式</p> <p>6 埋戻し土</p> <p>7 土留め工事</p> <p>8 マンホールふた</p> <p>9 消毒薬</p>	<p>● 小規模合併処理(● 分離接触ばっ気方式 ● 嫌気床接触ばっ気方式 ● 脱窒床接触ばっ気方式)</p> <p>● 合併処理(● その他性能評価を受けた方式( ) ● 接触ばっ気方式 ● 回転接触ばっ気方式)</p> <p>● ユニット型 ● 現場施工型</p> <p>● 処理対象人員 人 ● 処理水量 m<sup>3</sup>/d</p> <p>● 流入BOD 200mg/L ● 放流水質BOD 20mg/L以下</p> <p>● T-N mg/L以下 ● T-P mg/L以下</p> <p>※ 自然流下 ● ポンプ排水</p> <p>● 砂 ● 根切土の中の良質土</p> <p>● 不要 ● 要(図示による)</p> <p>※ 製造者標準仕様(ロック式) ● MHA型(ボルト式)</p> <p>3ヶ月相対分を納入する。</p>											
	29 総合試運転調整	<p>下記事項の総合調整を行い、測定結果を監督職員に提出する。</p> <p>● 温度 ● 湿度 ● 風量 ● 騒音 ● 水量 ● 浄化槽放流水質</p> <p>● 風速 ● じんあい ● 飲料水水質(● 一般飲料水適合検査 ● )</p> <p>● その他水質等(● 雑用水 ● 空調用流体 ● )</p>	19 定流量・変流量ユニット	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>														
	30 アスベスト含有建材の処理	<p>建築改修標準仕様書 9章 環境配慮改修工事 1節 アスベスト含有建材の処理工事による。</p> <p>処理を行うアスベスト含有建材の仕様等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建材の内容・箇所</th> <th>仕様等</th> <th>処理を行う範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者を活用するものとする。</p> <p>※ 官公署その他への手続は、建築改修標準仕様書ほか、労働安全衛生法、大気汚染防止法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、石綿障害予防規則、鳥取県石綿健康被害防止条例等の関係法令に基づいて行う。</p> <p>● 洗浄設備(洗線、うがいの設備)及び更衣設備等を設ける。</p> <p>● 作業場の養生として、処理場所をプラスチックシート等で囲い、外部への粉じん飛散を防止する。</p> <p>工事の施工に伴い既成部分を汚染又は損傷した場合は、既成にならない程度に補修する。</p> <p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲										20 温度計	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>		
	建材の内容・箇所	仕様等	処理を行う範囲															
31 補修など	<p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	21 冷水水管の空気抜き	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
32 はつり	<p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	22 空調機用トラップ	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
33 はつり工事における非破壊検査	<p>既成のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。</p> <p>調査方法 ※ 電磁誘導式 ● 放射線透過検査</p>	23 鋼板製煙道	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
34 足場	<p>足場の設置は、「手すり先行工法に関するガイドラインについて」(厚労省 発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する足場とし、足場の組立て等の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。</p>	24 オイルサービスタンク	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
35 工事安全計画書等	<p>建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に工事安全計画書を作成し監督職員に提出する。</p>	25 地下オイルタンク	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
36 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>実施する。</p>	26 油面制御装置	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
37 火災保険等	<p>工事目的物及び工事材料等工事施工中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に加入する。</p> <p>(保険の加入期限は、工事完成引渡しまで「概ね工期+21日」とする。)</p>	27 フィルター等付属品	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
38 グリーン購入	<p>グリーン購入は次のものとする。</p> <p>● 空調用機器(マルチエアコン) ● 衛生器具( )</p> <p>● 断熱材( ) ● 配管材(● 再生硬質塩化ビニル管)</p> <p>● その他( )</p>	28 パッケージ空調機の能力表示	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
39 鳥取県公共工事環境配慮指針	<p>対象工事</p>	29 防振吊り及び支持金物	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															
40 建築物省エネ法	<p>対象工事</p>	4 排煙設備	<p>※ 流量調整弁 ● 定流量弁(● ダイアフラム式流量可変式 ● カートリッジオリフィス形)を取付ける。</p> <p>(ア)防振ダンパー ※ 遮断復旧式 ● 電気式 (動作用電圧、電流はDC24V、0.7A以下とする。)</p> <p>(イ)ピストンダンパー ※ 遮断復旧式 ●</p>															



換気機器リスト

記号	名称	仕様	参考電気容量		数量	設置場所	備考
			φ	V			
FE-1	排気ファン	形式	有圧換気扇、低騒音形		1	1階倉庫1~4	
		風量	φ250×630m <sup>3</sup> /h×20Pa				
		付属品	バックガード、不燃枠、SUS製給排気形ウエザーカー (防虫網付・指定色塗装品) 共				
FE-2	排気ファン	形式	有圧換気扇、低騒音形		2	1階書庫	
		風量	φ300×950m <sup>3</sup> /h×20Pa				
		付属品	バックガード、不燃枠、SUS製給排気形ウエザーカー (防虫網付・指定色塗装品) 共				
FE-3	排気ファン	形式	有圧換気扇、低騒音形		3	2階倉庫	
		風量	φ300×1,020m <sup>3</sup> /h×20Pa				
		付属品	バックガード、不燃枠、SUS製給排気形ウエザーカー (防虫網付・指定色塗装品) 共				

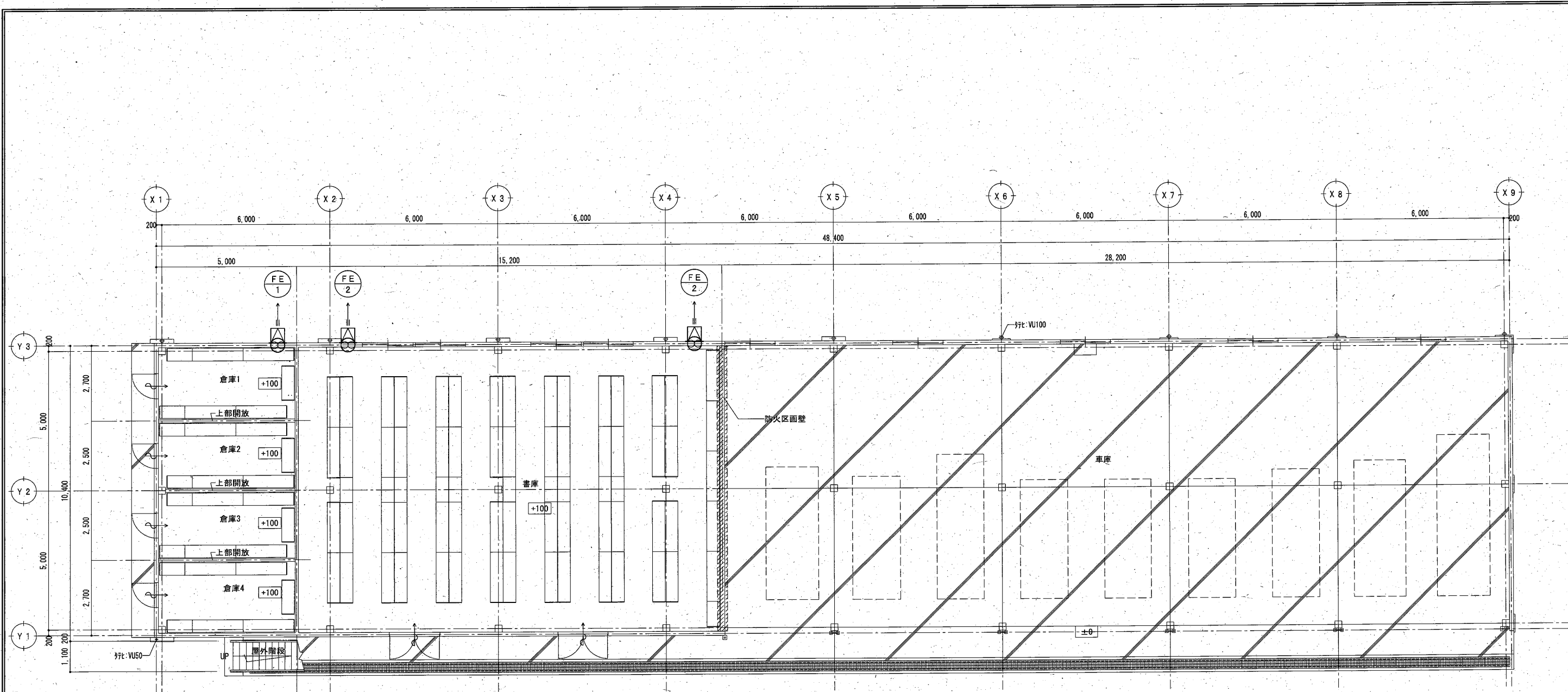
雨水樹リスト

記号	名称	仕様及び参考寸法	計画地盤高 (設計0基準)	計画管底高 (設計0基準)	設計樹高さ (計画地盤基準)	蓋	備考
①	雨水樹	350φ ポリプロピレン製	0	397	397	レジコン蓋	
②	"	350φ "	0	437	437	"	
③	"	350φ "	0	477	477	"	
④	"	400φ "	0	517	517	"	
⑤	"	400φ "	55	555	610	防護蓋 (T-8)	
⑥	"	400φ "	-100	577	477	"	

※リストに記入の樹深さは参考寸法とする。  
 ※高さ調整はアジャスターにて行う。  
 ※雨水樹の泥溜めは150H以上とする。  
 ※①~⑥までの勾配は1/300以上とする。

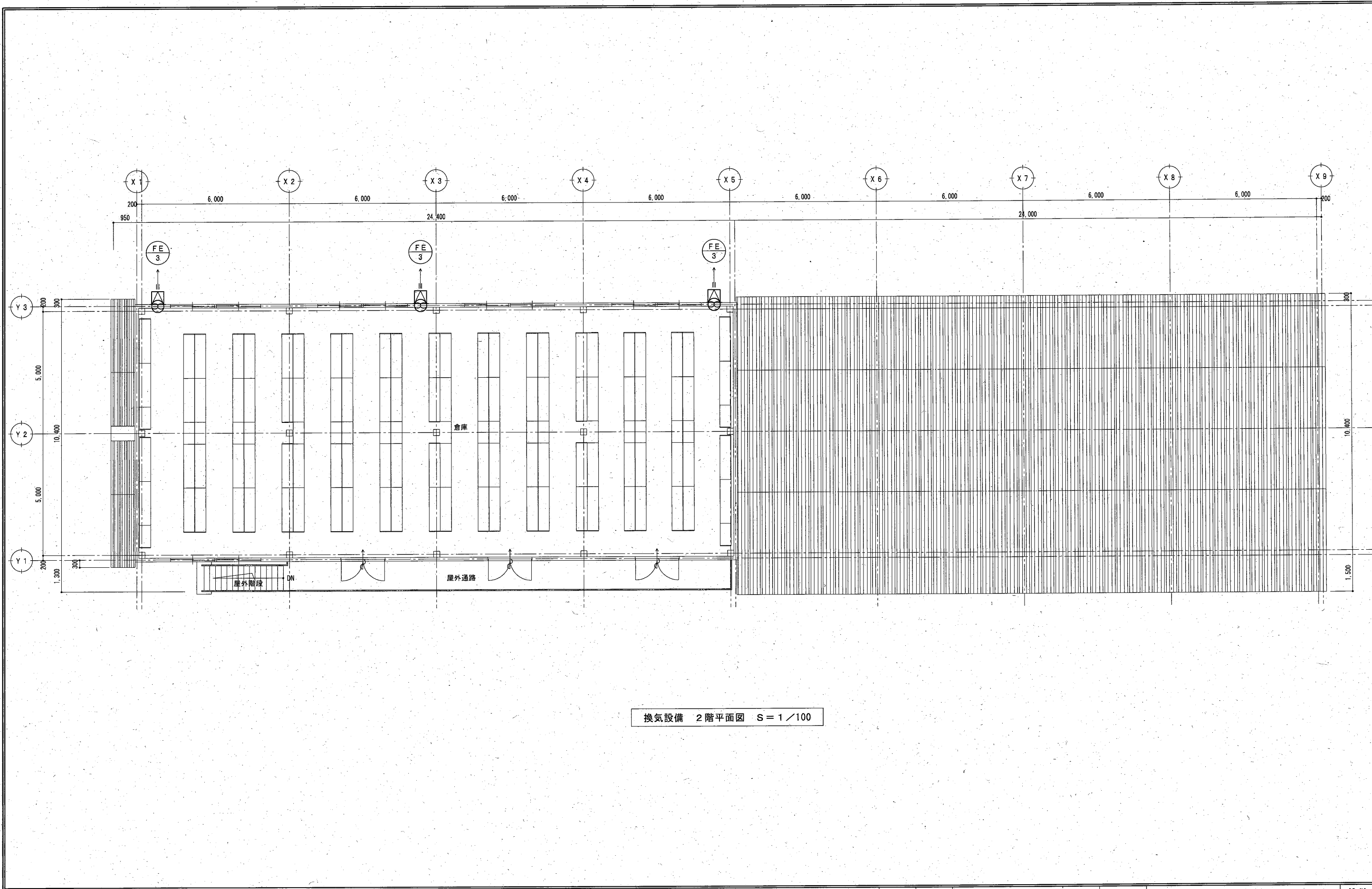
凡例

記号	名称	摘要
	給水管	水道用ポリエチレン二層管
	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管
HP	排水管	コンクリート管



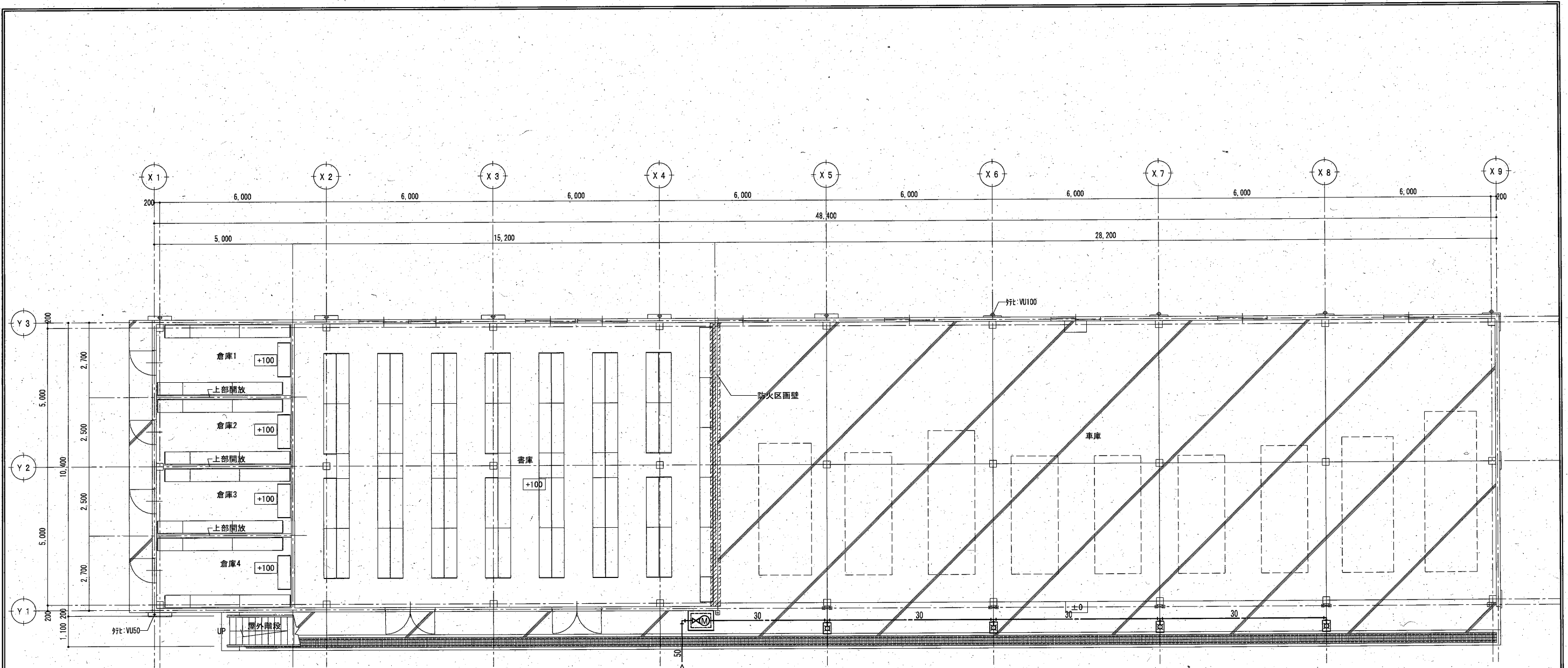
換気設備 1階平面図 S = 1 / 100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	換気設備 1階平面図	M-04



換気設備 2階平面図 S = 1/100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	換気設備 2階平面図	M-05

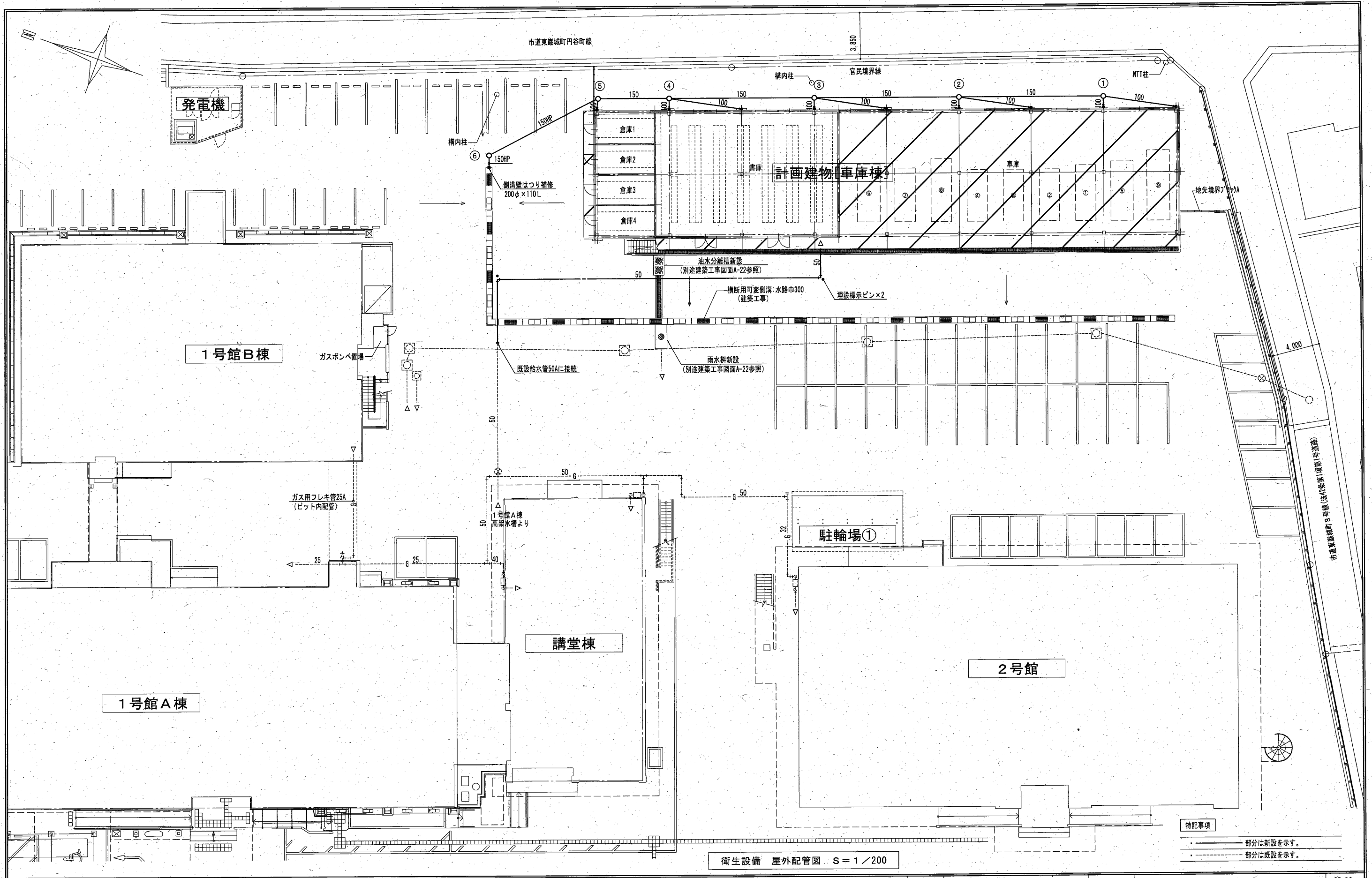


量水器32A	1
GV32A (5K)	1
量水器ボックス	
MC-1 (MB-1)	1

散水栓	
T28UNH13	4
散水栓ボックス	
B-3B	4

衛生設備 1階平面図 S=1/100

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.
DR. NAME	衛生設備 1階平面図	M-06



衛生設備 屋外配管図 S = 1 / 200

特記事項  
 - 部分は新設を示す。  
 - 部分は既設を示す。

TITLE	中部総合事務所車庫棟改築工事	DR. NO.	
DR. NAME	衛生設備 屋外配管図		M-07